

## 第36回

# 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会 全国（京都）大会 及び 研修会

### 大会テーマ

わたくしたちのアーカイブズ  
—めざすべき姿—

**期 日** 平成22年11月24日(水)・25日(木)

**会 場** 京都テルサ（京都府民総合交流プラザ）  
京都府立総合資料館

**主 催** 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会

**共 催** 京都府

**後 援** 独立行政法人国立公文書館、京都市、京都新聞社  
朝日新聞社・毎日新聞社・読売新聞社・産経新聞社・日本経済新聞社・共同通信社・時事通信社・中日新聞社・日本工業新聞社・日刊工業新聞社 以上10社 各京都総(支)局  
NHK京都放送局、KBS京都

# 開 催 要 項

- 1 期 日 平成22年11月24日(水)・25日(木)
- 2 主 催 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会
- 3 共 催 京都府
- 4 後 援 独立行政法人国立公文書館、京都市、京都新聞社、朝日新聞社・毎日新聞社・読売新聞社・産経新聞社・日本経済新聞社・共同通信社・時事通信社・中日新聞社・日本工業新聞社・日刊工業新聞社 以上10社 各京都総(支)局、NHK 京都放送局, KBS京都
- 5 会 場 (1) 総会・大会テーマ研究会・公開事業・研修会B～D・交流会  
京都テルサ(京都府民総合交流プラザ)  
〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町70番地(新町通九条下ル)  
TEL 075-692-3400(代)
- (2) 研修会A  
京都府立総合資料館 〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-4  
TEL 075-723-4834(歴史資料課)
- 6 内 容 (1) 総会  
(2) 研修会 5頁  
(3) 公開事業(ポスターセッション・資料保存ワークショップ・記念講演) 6頁  
(4) 大会テーマ研究会 6～7頁  
(5) 交流会  
(6) 大会プレ企画(11月20日) 7頁  
\* (3)・(6)は一般の方でも参加できます(ただし、(6)は有料で、事前申込が必要です)。
- 7 申込み方法 8頁「参加申込方法」、別紙「参加登録・交流会・宿泊・昼食(弁当)等のご案内」及び「申込書」をご覧ください。取扱いはJTB西日本京都支店が行います。
- 8 そ の 他 (1) 会員相互の親睦を図るため、個人情報の保護に十分配慮し、その用途を本大会に限定した上で、参加者名簿(氏名・所属[機関名又は都道府県名])を作成したいと考えております。別紙「参加登録・交流会・宿泊・昼食(弁当)申込書」の参加者名の名簿掲載可・否の欄に○印をご記入ください。記入がない場合は、否と判断させていただきます。  
(2) 手話通訳等の介護措置を希望される方は、別紙「参加登録・交流会・宿泊・昼食(弁当)申込書」の通信欄にその旨をご記入ください。  
(3) 11月20日(土)午後、上賀茂神社において大会プレ企画(東京大学名誉教授 橋本政宣氏の講演「賀茂別雷神社と賀茂川」など)を実施します。参加を希望される方は、8頁「参加申込方法」を御覧ください。

# 日 程

時刻	11月24日(水)		11月25日(木)
9:00	研修会Aコース 9:00~10:00		受付(テルサホール入口)
9:30		受付 (テルサホール入口)	
10:00	移 動	研修会Bコース 10:00~11:00	大会テーマ研究会 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 趣旨説明 9:30~ 9:45</li> <li>• 報告Ⅰ 9:45~10:45</li> <li>• 休 憩 10:45~11:00</li> <li>• 報告Ⅱ 11:00~12:00</li> </ul>
11:00	受付 (テルサホール入口)	休 憩 11:00~11:10	
11:10	研修会 11:10~12:10 Cコース Dコース		
12:00			
12:10	昼 食 ポスターセッション 資料保存ワークショップ 12:10~14:10		昼食：休憩 12:00~13:00
13:00			
14:10	記念講演 14:10~15:10		大会テーマ研究会 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 報告Ⅲ 13:00~14:00</li> <li>• 休 憩 14:00~14:10</li> <li>• 全体討議 14:10~15:40</li> </ul>
15:10	休 憩 15:10~15:30		
15:30	総 会 15:30~17:30		休 憩 15:40~15:45
15:40			閉会行事 15:45~16:00
15:45			
16:00			
17:30	休 憩 17:30~17:45		
17:45	交流会 17:45~19:45		
19:45			

# 会場

## 1 総会・大会テーマ研究会・公開事業・研修会B～D・交流会など

京都テルサ（京都府民総合交流プラザ） <http://www.kyoto-terra.or.jp/>

〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町70番地（新町通九条下ル） TEL：075-692-3400（代）

FAX：075-692-3402

\* 受付は、テルサホール入口で行います。

### ○京都テルサへの交通機関

- JR京都駅（八条口西口）より南へ徒歩約15分
- 近鉄東寺駅より東へ徒歩約5分
- 地下鉄九条駅4番出口より西へ徒歩約5分
- 名神京都南インターより国道1号北行き市内方面へ、九条通を東へ、九条新町交差点を南へ（有料駐車場が地下に180台あります。8:00～22:00の駐車料金の上限は1,600円です）

## 2 研修会A

京都府立総合資料館 <http://www.pref.kyoto.jp/shiryokan/>

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-4 TEL：075-723-4834（歴史資料課）

FAX：075-791-9466

\* 受付は行いません。研修会Aの終了後、京都テルサへ移動して受付をして下さい。

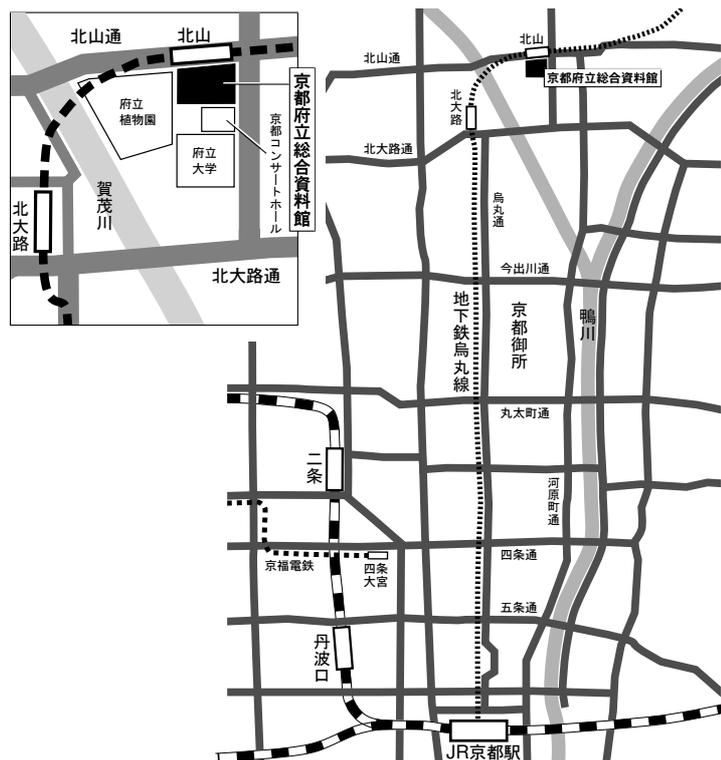
### ○京都府立総合資料館への交通機関

- 京都市営地下鉄の場合、烏丸線・北山駅下車、1番出口すぐ
- 京都市バスの場合、4番または北8番でバス停・北山駅前下車すぐ
- 京都バスの場合、45番または46番でバス停・前萩町下車すぐ

### ○京都テルサ



### ○京都府立総合資料館



# 11月24日のプログラム

## 研修会 1 時限

### A 京都市立総合資料館見学 (9:00~10:00)

沢尾 俊和氏 (京都市立総合資料館歴史資料課資料主任)

京都市立総合資料館は、まもなく開館50周年を迎えようとしています。この間、当館では、国宝東寺百公文書や重要文化財京都市庁文書等の収集・整理・保存を通じ、幅広い皆様に御利用いただき、その一端を御紹介したいと思います。

### B アーカイブズ入門 (10:00~11:00)

鈴江 英一氏 (元北海道立文書館・国文学研究資料館史料館)

「公文書管理法」が制定され、国、自治体にとどまらず、公私のアーカイブズ(記録)保存態勢が強められる期待がある。一方、現実のアーカイブズ(文書館、公文書館、資料館)はこれに応えられるのか、また設置を目指しているアーカイブズはどうあるべきか、模索が続いている。この「アーカイブズ入門」では、戦後の歴史資料保存運動が、今日のアーカイブズ保存の課題に発展していく様相を見つつ、私たちの方向をともに考えたい。その際、近年構想された札幌市公文書館の計画、アーカイブズが置かれている社会的環境にも触れておきたい。

## 研修会 2 時限 11:10~12:10

### C 公文書管理『新時代』に向けた取組

岡本 信一氏 (内閣官房公文書管理検討室参事官)

我が国では、公文書管理法の制定(2009年7月1日公布)により、公文書管理体制とアーカイブズ制度の充実・強化を図る抜本的な改革に向けた枠組みが構築された。

公文書管理法施行後の公文書管理『新時代』では、公文書の作成・取得、整理・保存、移管・廃棄と特定歴史公文書等の保存・利用が共通ルールで規律された一つの世界となる。

政府は、来年春の法施行に向けて、本年6月に公文書管理委員会を内閣府に設置して、7月から公文書管理の共通ルールとなる政令・ガイドラインの制定に向けた取組を始め、秋以降は各府省の文書管理規則や国立公文書館等の利用等規則の策定作業が進められる。

法施行に向けた政府の取組について解説する。

### D 三重県史編さんにおける資料調査と古文書整理

藤谷 彰氏 (三重県史編さんグループ主幹)

本県の資料調査は、原則、所蔵者宅へ出かけての調査が多く、所蔵者との対話や調査風景を見てもらうことで、資料の重要性を理解してもらい、保存の手立てを講じている。しかし、このような調査方法は、編さん開始当初から実施されていたものではなく、平成6年度の現状記録法を取り入れた資料調査からである。その後、調査方法への批判や予算・人員・時間面での対応を含めて部分的な修正を行ってはいるが、基本的な理念は継続している。近年では、資料保存の観点から古文書の所在調査や市町とのネットワーク化事業を進めている。調査現場での資料調査や古文書整理法の一事例を紹介したい。

- ★ 1時限(A・B)と2時限(C・D)の研修のうち、それぞれひとつ選び、お申し込みください。
- ★ Aに参加される方は、研修終了後、2時限に間に合うよう京都テルサまで移動してください。
- ★ 今年度の各研修時間は短いため、質疑応答はありません。

## 公開事業（11月24日 12:10～15:10）の御案内

第36回京都大会では、歴史資料の保存利用に関心のある方々に、広く御案内する公開事業を企画しました。この催しのみに参加される方は、どなたでも無料で参加できます。

### 12:10～14:10（テルサホール周辺スペース）

#### ポスターセッション

各機関・個人が、より「顔の見えるアーカイブズ・アーキビスト」になるために、ポスター展示を行います。館事業の紹介や個人の研究をまとめたA0版用紙のポスターを掲示して、24日の12:10～14:10のコアタイムには、展示者がその前で説明することとなります。全史料協の新しい試みを、情報収集・交流の場として積極的にご活用下さい。

### 12:10～14:10（3階 第2会議室）

#### 資料保存ワークショップ

別刷ちらしを御覧ください。

### 14:10～15:10（テルサホール）

#### 記念講演「国宝 東寺百合文書の魅力」

上島 有氏（摂南大学名誉教授）

東寺百合文書は、わが国中世における「国民の知的共有財産」としてのアーカイブズの代表的な文書であります。文字を中心とした歴史資料としての価値は、すでに十分に紹介されていますが、文字以外にも数多くのすばらしい情報が秘められています。これらを発掘し、情報資源として積極的に活用するのが、まだ生まれたばかりの新しい学問としての中世アーカイブズ学であります。今回は「百合」の箱の成立とその伝来をめぐるいくつかの挿話を中心に、百合文書の魅力と、中世アーカイブズ学について具体的にお話できればと考えています。

## 11月25日（大会テーマ研究会）のプログラム

### ■ 大会テーマ わたくしたちのアーカイブズ —めざすべき姿—

#### ■ 大会趣旨説明（9:30～9:45）

全史料協の大会は、この3年間「わたくしたちのアーカイブズ」を大会テーマとしています。サブテーマを、一昨年は「公文書館法20年と現在（いま）」、昨年は「公文書と地域資料」とし、両年とも昨年成立した公文書管理法の理念と運用についても議論を重ねています。

今年是最終年になりますので、あらためてメインテーマの意味する趣旨に正面から取り組みたいと思います。毎回述べているところですが、「わたくしたち」とは全史料協だけではなく広く国民一般のことで、メインテーマには、アーカイブズが日本社会必備の社会資本であるという認識がひろく国民全般にゆきわたることを願う意味を含んでいるのです。

今大会は、利用者の立場からアーカイブズについて考えることに重心をおきます。利用者の立場とは国民の立場ということです。将来の国民を含めてアーカイブズはどのようなものかを話し合いたいと思います。サブテーマは、それぞれの思いがぶつかりあい議論が白熱するよう「めざすべき姿」としました。

大会報告は、広い視点から考えられるよう公文書館関係者以外の方にお願ひしました。利用者の立場からと図書館員の立場から報告をいただきます。そして調査・研究委員会で協議していることを試論として提出し、最後に全体討議の時間を比較的長く設けました。

前日の研修会やポスターセッションなどを含めて、行政や公文書館関係者のみならず図書館・博物館・学校・公民館関係者、研究者、企業団体で資料に関心のある方々、そして誰でも共通に聴講し議論できるように取り揃えています。今年度は、参加費を例年の半額にしていますので、ふるってご参加くださり、活気ある大会にさせていただきますようお願いいたします。

#### ■ 報告 I（9:45～10:45）

##### 「近現代史研究と文書館 —利用者の立場からの一つの文書館論」

竹永 三男氏（島根大学法文学部教授）

報告者は、官選知事の全国会議である地方長官会議及び行旅病人・行旅死亡人（「行き倒れ」）の歴史的研究のため、全国34都道府県の文書館及び文書館相当施設等を利用し、都道府県庁文書を中心に所蔵史料を閲覧してきた。報告では、そこでの体験と各館に対するアンケート調査等に基づき、研究目的で文書館を利用している者が直面した次の諸点について検討する。

1. 利用者に対する案内・サービスの全国各館の状況

2. 個人情報保護等による所蔵文書の公開規制に関する全国各館の方針と運用の実際
3. 「利用が進むことで文書館の機能が向上し、その恩恵を利用者が享受できる」ような利用の仕方、利用者  
と文書館の関係はどのようなものか。

## ■ 報告 II (11:00~12:00)

### 「目撃せよ！ 紙片が宝に変わる瞬間<sup>とき</sup> —図書館員のアーカイブ資料探検—」

井上 真琴氏 (同志社大学企画部)

MLA連携が声高に語られながらも、図書館界ではアーカイブ資料への関心は低い。取り扱う資料の無二性、図書館目録との粒度の違い、公開制限等の特性により図書館員からは敬遠されがちである。館内未整理資料の目録化の機運はなく、レファレンス業務の現場でも他機関が所蔵公開するアーカイブ資料の活用すら想定されない。

事態を改善するには、まずは図書館員が具体的にアーカイブ資料の整理プロセスを経験し、紙片の一つひとつが与えてくれる豊かな情報と意味を知る瞬間が必要である。本報告では、同志社大学図書館・田中稲城 (初代帝国図書館長) 関係文書を整理するなかで見えてきた、図書館とアーカイブズの接点と連携可能性を紹介する。

## ■ 報告 III (13:00~14:00)

### 「公文書館機能の自己点検・評価指標」(試論)

早川 和宏氏 (大宮法科大学院大学、調査・研究委員会)

富永 一也氏 (沖縄県公文書館、調査・研究委員会)

調査・研究委員会からは、富永・早川両委員を報告者として、自己点検・評価指標の試案を提示する。これには二つの意図がある。まず、既存の公文書館の自己点検・評価のための基準を示すこと。つぎに公文書館未設置自治体が現実に備えている公文書館機能の評価である。本報告では、法的根拠に基づき、公文書館機能が満たすべき条件—昨年の大会で示された「ミニマムエッセンス」—についての議論を深めつつ、公文書館機能のさらなる充実をめざす方向で提案したい。公文書館機能が社会に定着するためには、これからの数年が重要である。他報告との連動やフロアとの議論により、公文書館機能の充実・発展の機運を呼び込むきっかけとしたい。

## ■ 全体討議 (14:10~15:40)

### 「めざすべき公文書館的機能とは？」

司会：定兼 学氏 (岡山県立記録資料館、大会・研修委員会)

森本 祥子氏 (学習院大学大学院、調査・研究委員会)

## ■ 閉会行事 (15:45~16:00)

## 大会プレ企画 (11月20日(土) 12:30 受付 上賀茂神社 北神饌所)

### 「賀茂の歴史と文化~悠久の歴史の中で受け継がれてきた葵の心」

#### ■ 講演「賀茂別雷神社と賀茂川」(13:15~14:30)

橋本 政宣氏 (東京大学名誉教授・舟津神社宮司)

京都といえば賀茂川(鴨川)、賀茂川といえば京都が連想されるように、賀茂川は京都を象徴する河川である。京都の人々の生活や文化にも密接にかかわり、京都の市街が左京を中心に発展していったのも賀茂川存在と関わりが深い。そして、国内におけるこの川存在は、各地における「小京都」と称されるところにはこれに擬される川もあり、これが「小京都」の条件ともなっていたともいえる。

それほどに賀茂川はよく親しまれた川であるが、古代から近世末に至るまでこの賀茂川の水支配を行っていたのが、実は全国に三百社近くの分霊社を有する賀茂別雷神社(上賀茂社)であったことは一般には殆ど知られていない。上賀茂社は社領として賀茂六郷を有し、賀茂川の上流に位置する上賀茂社がその用水権、神供の魚を得る漁業権を占有し、江戸時代には同社川奉行がこれを管轄した。そして下流諸郷への用水権も掌握していたのみならず、賀茂川の水を引く禁中の御池の水などもこれを差配していたのは上賀茂社であった。賀茂川と上賀茂社との関連の実体、この上賀茂社の賀茂川の水支配の伝統がなにに由来するのかなどについて考えたい。

#### ■ 特別参拝 上賀茂神社本殿・権殿(国宝) (14:40~16:40 [予定])

# 参加申込方法

別紙「参加登録・交流会・宿泊・昼食(弁当)等のご案内」をご覧ください

## 1 大会参加費について

参加種別	大会参加費	交流会参加費	
会員	1,500円	5,000円	機関会員・個人会員とも
準会員	1,500円		
非会員	2,000円		
非会員 (京都府内在住・在勤)	1,500円		
11/20プレ企画	1,000円		

### (2) 研修会・大会テーマ研究会

24日研修会（1時限・2時限）の参加希望コース、および、25日の大会テーマ研究会への参加・不参加をそれぞれ選んで、別紙申込書の該当箇所に○を付けてください。

(3) 交流会への参加・不参加は、別紙申込書の該当箇所に○を付けてください。

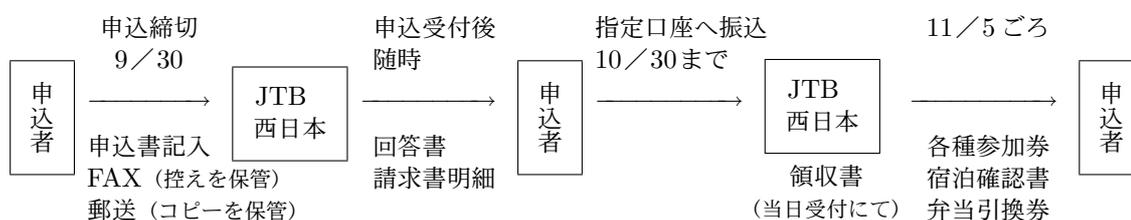
## 2 申し込み・問い合わせ先

別紙「参加登録・交流会・宿泊・昼食(弁当) 申込書」に必要事項をご記入の上、下記へファックス又は郵送にて、9月30日(木) 必着でお申し込みください。

### (1) 申し込み先

【第36回 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国（京都）大会 受付係】  
JTB西日本 MICEセンター  
〒541-0058 大阪市中央区南久宝寺町3-1-8 本町クロスビル11階  
TEL：06-6252-2861 / FAX：06-6252-2862  
E-mail：t\_doi897@west.jtb.jp 担当：土井登紀子  
営業時間：平日 9：30～17：30 ※土・日・祝祭日休業

### (2) 申し込みから予約確認までの流れ



(3) 問い合わせ先 第36回 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国（京都）大会 事務局  
京都府立総合資料館 〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-4  
TEL：075-723-4831 FAX：075-791-9466  
○担当：村野友子 E-mail：t-murano84@pref.kyoto.lg.jp

## 3 申込締切 平成22年9月30日(木) 必着

## 4 プレ企画「賀茂の歴史と文化」への参加申込について

- 別紙「参加登録・交流会・宿泊・昼食(弁当) 申込書」により、あわせてお申し込みいただけます。
- 「申し込みから予約確認までの流れ」は大会と同様になります。